

蒲田東特別出張所管内

人口	男	24,399名
	女	22,254名
	計	46,505名

世帯数 30,586世帯

令和6年7月1日現在



- ★発行
地域力推進
蒲田東地区委員会
- ★編集
地域情報紙「かまた東」
編集委員会
- ★事務局
蒲田東特別出張所
蒲田本町2-1-1
TEL (5713)2001

蒲田東の中学校から見た地域

ボランティア活動

東蒲中学校長 小松 重樹

新型コロナウイルスが流行り、学校の教育活動は中止や大きな制限がありました。その中でもボランティア活動が全くできなくなりました。しかし、昨年度の五月に新型コロナウイルス感染症が二類から五類に移行したことをきっかけに、ボランティア活動を再開しました。

七月に地域の町会のイベントに参加し、起震車体験やゲームコーナー等の担当として小さな子どもたちの誘導をしました。八・九月には地域祭礼で、お神輿を担ぎました。町会の方たちと触れ合い、蒲田駅前やキネマ通りで神輿を担ぎ、練り歩きしました。生徒が大きな声を出してお祭りを盛り上げ、良い思い出



防災ボランティア



おみこしボランティア

になりました。その他、防災のイベントや小学校の運動会にも参加しました。秋には校外の活動だけではなく、学校の周りの落ち葉掃きをしました。地域清掃を呼びかけると、多くの生徒が参加して、登校前の時間に学校の周りをきれいにしました。

このように本校の生徒はボランティア活動を呼びかけると、多くの生徒が参加し、気持ちよく活動してくれます。地域に根ざした学校を目指していきますので、これからも東蒲中生をよろしくお願いします。

地域から信頼される
学校を目指して

蒲田中学校長 中野 敏英
昭和三十二年十一月、東蒲中

学校のマンモス化にともない、大田区で初となる鉄筋校舎で、一・二年生六百六十一名、十一学級で開校した蒲田中学校は、今年度で六十六年を迎えています。本校は、「考えて行動する」「まじめに学習する」「助け合い協力する」を教育目標に掲げ、「主体的に活動する生徒の育成」を重点課題としています。その活動の一つに、学校のきまりの見直しに生徒を参画させて取り組んでいます。自分たちにとつ



ガーデンパーティーボランティア

て過ごしやすい学校にするために何を变えていくべきか、生徒

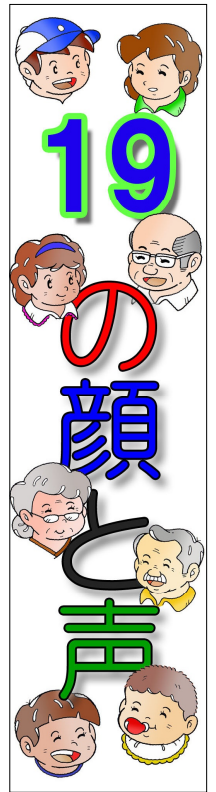
から出た意見を生徒会の拡大中央委員会においてまとめ、教師、PTA、地域代表、弁護士、そして生徒代表で組織した学校生活向上委員会で検討し、職員会議を経て校長が判断するという流れで進めています。生徒自身で自分たちの蒲田中をより良くしていくことを意識させ、責任

のある行動に結びつけています。このような学びを通して、主体性を育み、やがてこの地域で活躍するべく人材を育成していきたいと思えます。

今年度は全校生徒二百七十七名、七学級でスタートしました。区内では小規模校に分類されます。生徒達は、落ち着いた学校生活を送り、勉強に部活動に委員会活動、学校行事に一所懸命に取り組んでいます。特に地域行事であるガーデンパーティー、まもりんピック、みんなで遊ぼうわくわく広場において、受付や駐輪場整理のボランティア活動や、吹奏楽部の演奏、ダンス部の発表で貢献をしています。このように本校の生徒達の活躍の場を提供していただき、暖かいご支援とご協力をいただいている蒲田東地区のみなさんには大変感謝しております。地域あつての蒲田中学校です。今後ともよろしくお願いいたします。



ダンス部による発表



緊急時の防火・防災への対応は

蒲田二丁目東町会

川崎 益男

令和六年一月一日十六時十分
に発生した能登半島地震で、一瞬にして正月気分が吹っ飛んでしまいました。友人が帰省していたからです。やがてニュースから流れる映像は想像以上の有様で心が痛みました。幸い友人宅は震源地から少し離れていた...



助成金で購入したソーラー発電機

交通安全の新学期として

蒲田二丁目自治会

吉岡 智垣

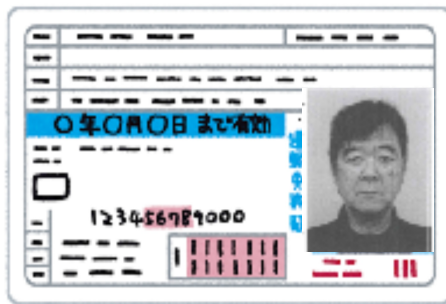
自治会の交通安全部の部員を三年ほど前にひきうけ、春・秋の交通安全週間には、朝の通学時間に交差点での旗振り、安全見守りなどの活動を行ってまいりました。まだまだ新人だなど思っていた矢先、前任の部長から打診されたこともあり、本年度から交通安全部の部長を引き継ぐことになりました。

交通安全は、特に意識するこ

ともなく、普段の生活の中で当たり前に行なっているものです。交通量の多い道路を歩いて渡る、自転車で購入物に行ってくる。自転車を運転するとき以外でも

「交通安全」は常に意識すべきです。忙しい時や、ちよつとした気の緩み・油断により「まあいいか、これくらいは」という不安な行動が、時には重大な事故の要因となってしまう場合があります。

交通安全部の部長交代となりますが、活動内容が特に変わることはありません。日頃から安全意識をもっていたいただき、安心して暮らしていける地域を目指したいと思います。



(新) 交通安全部長

二年間を振り返って

東蒲田二丁目町会

石記 哲史

私が東蒲田二丁目町会の会長を引き受けたのが、令和四年の七月からです。

令和四年度はコロナ渦の影響もあり、例年通りのイベントが

できなかつたです。

その中で開催したのは敬老のつどい、交通安全運動、年末のパトロール、新春のつどいなどを行いました。

一年目は活動が少なかつたのでなんとか、のりきることが出来ました。

新型コロナが令和五年五月に五類に移行してからは、例年通りの行事が行えました。

北野神社の祭礼に始まり、四町会合同防災訓練、四町会合同盆踊りと続き、九月に入ると四年ぶりの祭礼、四町会合同パレードの責任者となり四苦八苦の日でした。その後は例年通りの活動が続きました。まだまだ未熟ですが、頑張っていきたいと思えます。



みんな元気にワッショイワッショイ

民生委員になって

蒲田五丁目南町会

奥山 勇一

昨年七月に町会からの推薦で



令和5年 長野県での民生委員研修

大田区長より民生委員の委嘱をお受け致しました。受けたは良いのですが民生委員とは何をすればいいのか、まして社員である私に出来る事なのか、全く判らず不安でした。

月に一度の蒲田東地区民生委員会議で諸先輩達に教えていただきながら何とかやっております。具体的には町会内の一人暮らし高齢者宅への訪問や熱中症予防喚起パンフレット配布、地域の子供達の見守り等です。区役所と地域との間のパイプ役的な仕事です。

昨年十月には蒲田東地区民生委員約三十名で長野へ研修旅行に行つて参りました。その研修を通して仲間との絆が更に深まりました。これからも地域の為に行政とのパイプ役として一層の努力を致して参る所存です。

中学生の思いと決意

【決意】東蒲中学校

三年 石井 廉

私が、今以上に成長していくために、挑戦したいことが二つあります。まず、多くの本を読み、新しい世界を広げることに挑戦したいです。なぜなら、本を読むことで、今の自分には足りないものを学び、補ってくれるからです。例えば、物語文を読むことで、想像力が高まり、もっと豊かな人生を歩んでいただけます。また物語文以外を読むことで、いろいろな知識が身につけていき、日常生活に活かすことができます。他にも集中力が高まる効果もあり、集中力が足りない私には必要なスキルだと思ったからです。

二つ目は信頼される人間になるために、自分の行いや言動を変えていくことです。今、私は生徒会長として、東蒲中学校をより良くしていきたいと考えています。そのために私は普段から進んで挨拶し、学校の大前提のルールを踏まえて生徒の意見を反映できるように学校にしようと思っています。また、困っている人を見かけたら助けてい

けるような学校にもしていきたいです。

以上のことに挑戦し、私は自分ができる成長をするために有言実行を胸に刻み、行動に示していきたいと思っています。

とつぼもちちゃん
東蒲中学校

卒業生(匿名)



込めた思い

東蒲中の校章には柏が使われていて、「かしわ祭」という行事もあるのだ、かしわもちをイメージして作りました。頭にかぶっているのは、柏の葉っぱのずきんです。スカートについている模様は、柏の家紋です。手に持っている柏の葉のうちわで、東蒲中生を応援します。

【思い出】蒲田中学校

二年 西嶋 歩睦



思い出の公園

今回は私の思い出の場所について伝えます。蒲田で最も私の思い出に残っている場所は、蒲田一丁目公園です。小さい頃からよく親に連れて行ってもらった事はとても印象に残っています。幼稚園の頃に砂場で一度も会ったことのない同年代の子供たちと仲良くなり、一緒に遊んだことや、小学五年生の頃に同じクラスの友達と鬼ごっこをして楽しい時間を過ごしたことも、最高の思い出として心の中に刻まれています。蒲田一丁目公園は、私に新しい出会いや、友達を作る機会を与えてくれた最高の場所です。これからも子供達にとって最高の遊び場として受け継いでいくことはもちろん、新しい出会いをつくるきっかけになる公園であり続けてほしいです。

【決意】蒲田中学校

一年 鈴木 晴太

新しい学年になり、僕は部活動に今より力を入れていきたいと思っています。

夏が近づくとつれ、三年生の引退も近づき、二年生に部長などの仕事を引き継がれます。僕は部長になるために、三年生の先輩がしてくれていることを観察してみると予想よりもたくさんの方があり、今よりもずっと周りを見て、同じ学年はもちろん、一年生のサポートをしっかりできるようなにしないといけないのだと思いました。後輩のみんなにかっこいい姿を見せられるように、まずはほかの誰よりも努力することを意識しようと思います。

今このように、何倍も努力をして、一つの部活動として、一人の選手として、完成度の高いものができるように頑張りたいと思います。



切磋琢磨した相棒

沖繩に「太陽ぬ子(ていだぬふあ)」という島唄があります。子ども達は太陽(天)からの授かりものに等しい恵みであると歌った唄です。私は、これから蒲田東特別出張所の職員として、太陽のように輝く蒲田東の子どもの成長に少しでも貢献できるように、微力ながら頑張りたいと思います。

ていだぬふあ

蒲田東特別出張所 林 駿



私は大学入学までの十八年間を沖繩で過ごし、千葉県の大学を卒業後、この四月から大田区の新規採用職員として蒲田東特別出張所に配属となりました。出張所の職員として蒲田東地域のまちづくりに携わる中で、強く印象を受けたのは、活気溢れる地域の子どもの姿です。四月に行われたガーデンパーティーでは、小学生による元気いっぱい

リーダー 19

会長大いに語る 第十二回



京浜蒲田町会長

おびつ 眞人



私は平成二十一年に京浜蒲田

町会の会長に就きました。この十五年で住民の構成は大きく変わりました。かつては衣食住から趣味・娯楽まですべてが揃う周辺住民のための商店街でしたが、今では羽田空港の玄関として周りに多くのホテルが建ち並び、宿泊客やビジネスマンのための飲食店街などと実感します。当然、かつての商店を営んでいた住民も引越したり、建て替わったマンションの居住者となり商売人たちの活気ある町会と



蒲田八幡神の祭礼

いうイメージではなくなりました。コロナ渦で更にその傾向は進み、お祭りや商店街との共同イベントも後継者不足で先細りの感があります。



商店街イベントの流し踊り

私は蒲田八幡神社の祭礼、京浜蒲田商店街(あすと)のイベントが大好きです。何故なら地

域に住む人、働く人が一緒になって楽しみ、協力し、理解しあえるからです。マンションの居住者の方々、飲食店の経営者・従業員の方々や多くの若い世代の方で京浜蒲田の地元らしさを保ちつつ、新しい活気のある街にしていくってもらいたい。お祭り好き、イベント好きの人、私たちの町会活動に参加してください。また、そういう人との繋がりがこの地域の安心安全を作る意識になっていけばと思います。

蒲田東ぶらり 消え去った蒲田映画街

佐藤 慎一郎

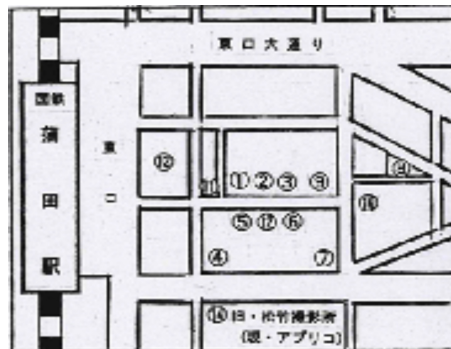
敗戦後の昭和中期は経済が発展し始めた頃で、世の中はまだ貧しくも活気のある日本になりつつあった。その頃の庶民は良く働いていたのを私は子供ながらに覚えている。サラリーマンも多くいたが、職人や商人の労働力もひとかたならないパワーが有った。

そんな庶民の娯楽と云えば、ラジオや駅前にはポツリポツリと出現して来た街頭テレビくらいのものであろう。そして芝居や映画と言う娯楽はその中でも一段と輝いていた時期でもあった。元々蒲田には松竹撮影所(現在のアプリコ)が在った事からか撮影所から北へ百米と離れていない所へ約八軒もの映画館が

「美須商事(株)」によって営業されていた。しかし今はその映画街もすっかり消えてしまった。すさまじい勢いで普及した家庭のテレビジョンやビデオシステム、今ではインターネット等の媒体により憧れの銀幕の世界も家庭でお手軽に見られるものになってしまい、その幕を降ろさざるをえなかったのだろう。先日浅草の友人に聞いた話では、あの六区の映画街でも上映館が皆無となってしまったらしい。



昭和31年蒲田映画街全景



昭和33年蒲田映画街周辺図

【地図説明】

- ①蒲田日活 ②蒲田大映 ③蒲田東映 ④蒲田国際劇場 ⑤蒲田松竹映画館 ⑥蒲田ロッキン映画部 ⑦蒲田文化映画館 ⑧蒲田スカラ座 ⑨自転車置き場 ⑩おぐら湯(後にパチンコボタン園)
- ⑪寿司 秋月 ⑫美須商事(株)
- ⑬空地(現・パチンコ金時)
- ⑭松竹撮影所(現・アプリコ)

編集委員紹介

編集委員長

蒲田三丁目町会

山崎礼子

副編集委員長

蒲田一丁目自治会

杉山敬次郎

編集委員

蒲田一丁目町会

笠原信子

東蒲田一丁目自治会

田村和夫

東蒲田二丁目町会

落合武弘

東蒲田二丁目南町会

塩野賢一

南蒲田一丁目自治会

大脇多恵

南蒲田二丁目町内会

高田和男

南蒲田三丁目町会

秋成京子

蒲田二丁目東町会

鴨井從雄

蒲田二丁目自治会

菊地規起

京浜蒲田町会

加藤郁夫

蒲田四丁目町会

小倉孝子

蒲田本町二丁目町会

遠藤末子

蒲田一丁目町会

鈴木寛規

蒲田五丁目南町会

赤沢伸吾

蒲田東口町会

佐藤慎一郎

蒲田公園自治会

岡崎幸夫

蒲田本町一丁目町会

福島麻美子

編集室便り 「チャレンジ」

山崎 礼子

『今年一月の地震で被害に遭われ、未だ復興も進みが遅い能登半島の皆様にお見舞い申し上げます。』

情報紙も新年度を迎え読者視線に沿う様な紙面づくりを目指し「チャレンジ」の年と致します。東庁舎区域の中学校二校を取り上げました。又、新入社員の決意も入れ、若い力を借りて皆様の目がキラリと光る情報紙です。

協力(敬称略): 東蒲中学校、蒲田中学校(1面:「蒲田東の中学校から見た地域」3面:「中学生の思いと決意」)
(株)チッタエンタテイメント(旧美須商事株、4面:「蒲田東ぶらり」の写真の提供)